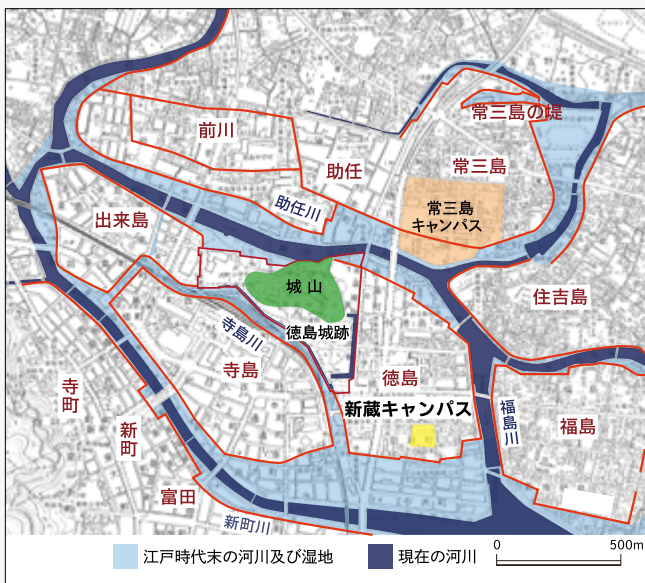


## 徳島城下町のなかの新蔵遺跡 SHINKURA

徳島城下町は、天正13(1585)年、豊臣秀吉による四国平定後、阿波国に入部した蜂須賀家政によって建設がすすめられました。築城と同時に、城郭の置かれた城山を中心に、助任川・福島川・寺島川などで分断された6つの島(徳島・寺島・福島・住吉島・常三島・出来島)とその周辺において城下町の整備が始まりました。絵図や古文書から正保期(1644-1648年)には、徳島・寺島に上級武家屋敷、出来島・常三島・富田地区などに中・下級武家屋敷、福島に船置場や船頭・水主屋敷、寺島・新町地区・助任地区に町屋、眉山山麓の寺町に寺社が形成されたことが分かっています。

新蔵遺跡は城山と接する「徳島」の東南部に位置します。この島の周囲には石垣が施され、城下町のなかでも城郭の三の丸的な役割を担うなど重要な場所でした。



新蔵キャンパスと周辺の地図

## 徳島大学埋蔵文化財調査室の活動 Activities

徳島大学はすべてのキャンパスが遺跡の上に立地しています。文化財保護法によって建物などの建設に際して、周知の遺跡(埋蔵文化財包蔵地)を掘削する場合、発掘調査を行うことが義務付けられています。こうした理由で、1992年に徳島大学では埋蔵文化財調査室が設置されました。以降、大学構内遺跡の開発に伴い、継続的に遺跡の発掘調査を実施してきました。その結果、学術的価値の高い文化財が数多く発見され、考古学・日本史などの学界にも大きく貢献してきました。また近年、学内外でこれらの埋蔵文化財を活かした教育普及活動にも力を入れています。

## 徳島大学構内の遺跡 Sites

徳島大学は大学事務局が位置する新蔵キャンパス、総合科学部・理工学部・生物資源産業学部が位置する常三島キャンパス、医学部・歯学部・薬学部・病院などが位置する蔵本キャンパスに分かれています。ここでは常三島キャンパスと蔵本キャンパスの遺跡について簡単に紹介します。

**常三島遺跡** 常三島キャンパスは江戸時代の「常三島」に位置します。徳島藩中・下級武士の屋敷地であったことが知られています。ここからは、絵図や古文書から知られていた武家屋敷跡や船置場と考えられる遺構を発掘調査で確認することができました。

**庄・蔵本遺跡** 徳島市庄町・蔵本町に所在する蔵本キャンパスは、縄文時代晩期から近世の遺跡の上に立地しています。特に弥生時代前期の畑・水田・大溝・水路・墓地などは、初期農耕集落の様子を今に伝えています。

詳しくはこちらから



# 新蔵遺跡

SHINKURA Site

日垂会館(地域・国際交流プラザ)地点  
— 近世徳島藩の上級武家屋敷跡 —



19世紀の石組み溝と池状遺構

国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2-50-1

TEL・FAX 088-633-7236

ホームページ: <http://tokudaimaibun.jp>

## 新蔵遺跡の発掘調査

Excavation

2004年4～11月の約7か月間、徳島大学埋蔵文化財調査室によって新蔵遺跡の発掘調査が行われました。新蔵キャンパスは、徳島城下町跡を主体とする遺跡の上に立地しています。このことから、日亜会館（地域・国際交流プラザ）の建設に伴い、破壊されてしまう遺跡の記録保存を目的として、調査が実施されました。

調査の結果、かねてより絵図や古文書、周辺の発掘調査成果によって予測された上級武家屋敷跡が確認されるなどの成果を上げました。



素掘り溝（18世紀）

石組み溝（19世紀）



池状遺構（19世紀）

## 屋敷境の確認

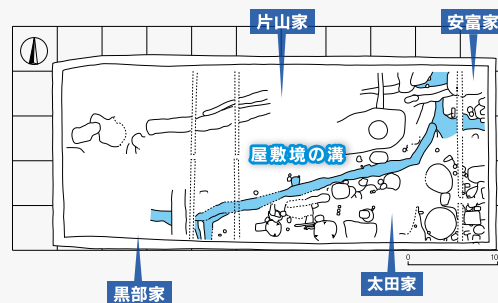
Confirmation

この発掘では下の絵図に描かれた片山家、安富家、黒部家、太田家の屋敷地の境界に沿うように、江戸時代中頃（18世紀代）の素掘り溝が見つかりました。このことから、この溝が当時の屋敷境であったと推測できます。また江戸時代の終わり頃（19世紀）になると、素掘り溝から石組み溝になり、安富家と太田家の屋敷地は蜂須賀家のそれへと統合されます。これらの屋敷主を裏付ける資料も出土しています。



享保12（1727）年頃の新蔵遺跡

（徳島大学附属図書館所蔵『御城下絵図』を改変）



発掘調査でみつかった屋敷境の素掘り溝（18世紀）



焼継師の印

陶磁器を修理する焼継師によって記された「片山」の文字

## 発見された遺物

Artifacts

陶磁器・土師質土器・瓦・土製品・金属製品・石製品・木製品など多種多様なものが出土しています。こうした成果は、文献史料では知り得ない、当時の武士たちの豊かな暮らしぶりを私たちに語ってくれます。



陶磁器・瓦

（瓦の卍文は蜂須賀家の家紋）



箱の一部

漆製品

櫛掛い

骨製品



硯

金属製品

十能

キセル

銭